

日本写真芸術学会 第3回関西写真研究会「日本からみた韓国の写真史といま」

日韓は時差もなく距離も近い位置にあります。以前は「近くて遠い国」とも言われ、ワールドカップ共同開催、韓流ブームを経て、今年は日韓国交正常化 50 周年を迎えました。また、今年は「韓国写真史 1631-1945」が日本で翻訳出版されました。両国の写真交流のますますの発展を願い、韓国の写真史と現在について考える機会を持ちたいと思います。

- 発表者：
1. 犬伏雅一（いぬぶせ まさかず／大阪芸術大学教授）
『日韓写真史の交差』
 2. 金 仁淑（Kim Insook／写真家）
『韓国のアーティストインレジデンス -私の体験などから』
 3. 李 受津（Lee Su-Jin／大阪芸術大学大学院芸術研究科修士課程 2年）
『韓国現代写真の今 -若い作家とその傾向』

日時：2015年10月10（土）

午後1時30分～午後5時
（午後1時開場）

会場：ビジュアルアーツ専門学校大阪
（大阪市北区曾根崎新地 2-5-23）
新館 3階アーツホール

- ※阪急梅田、阪神梅田、JR大阪大阪、
地下鉄梅田、東梅田駅から徒歩10分。
地下鉄四ツ橋線西梅田から徒歩5分。
- ※会場には駐車場はございません。

参加無料【事前申込み不要】

連絡先：jsahp.kansai@gmail.com

※10/10 当日のみ受付、午前10時～午後5時
※電話のお問い合わせはご遠慮ください。



●発表者紹介（一部のみご紹介／発表順・敬称略）

- 1 犬伏 雅一（いぬぶせまさかず／大阪芸術大学教授・芸術計画学科長）1976年京都大学文学部言語学科卒業。
1987年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。文学修士。研究分野は美学、視覚文化論、映像理論。
近著（訳書）に「韓国写真史 1631-1945」（青弓社、2015年）など。
- 2 金 仁淑（Kim Insook／写真家）www.kiminsook.com 1978年大阪府生まれ。大阪樟蔭女子大学学芸学部被服学科卒業。ビジュアルアーツ専門学校大阪写真学科卒業。漢城大学芸術大学院西洋画科写真映像専攻修了（韓国）。日韓、ヨーロッパ等で個展やグループ展、アーティスト・イン・レジデンスなど多数。2014年「Go-Betweens」／森美術館ほか巡回出品。2003年「コニカフォトプレミオ」（日本）、第6回写真批評賞写真部門優秀賞（韓国）、2011年ソウルフォトフェスティバル Portfolio review 優秀作家（韓国）、2012年テグ写真ビエンナーレ Portfolio Review Encounter'12 優秀作家（韓国）、MIO PHOTO OSAKA2013「笠原 美智子／東京都写真美術館・選考」など。
- 3 李 受津（Lee Su-Jin）1989年韓国仁川生まれ。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業。2012年写真学科選抜展最優秀賞「飯沢耕太郎賞」。2013年度卒業制作ミネアポリス美術デザイン大学学長賞。第62回ニコールフォトコンテスト第4部U-31準特選。2012年弘益国際美術祭展（韓国）。2013年アジア大学生国際写真展（ソウル科学技術大学、韓国）。2015年INTAC（5カ国大学交流プロジェクト）参画。2015年アジア大学生国際写真展（九州産業大学）、EWAAC 特別展（Chelsea Town hall in King's Road、ロンドン）など。